

■1984年 8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 ■発行人

関西障害者定刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価1000円



施設のなかの
ぴかっとアート!



生活介護事業(通所)利用者

小林久太郎さん

子供の時に行った動物園の思い出を
作品にしました。

かいつぶり通信

かいつぶりエッセイ

VOL.43

誰にでも待っている「おひとりさまの最期」

重度心身障害を持つ子どもたちの親との接点が増えた。彼女たちの悩みのトップは「親亡きあとの子の人生」。親も高齢化しているし、子も高齢化しつつある。

障害を持つ子どもたちの親は、子の世話が最優先で、自分の老後など考える余裕などなさそうだ。だが、死後より前に、自分自身の老後がくる。昨日できたことが今日できなくなり、今日できることが明日できなくなる加齢は、中途障害者になるのと同じ。カラダの不自由に加えて、アタマの不自由、心の不自由の一部または全部の集合を経験することになる。自分の身の始末が自分でできなくなり、自己決定能力を失ったら？子どもが障害を持っていたら、子に頼ることができない。子どもより前に自分の老後を心配するほうが先だろう。

子に頼れないのは、おひとりさまのわたしと同じ。そう思えば、同じ立場の高齢者が多いことに気がついた。子どもがいても遠くに離れていたり、病気だったり。親が長命なら、子どもに先だたれる高齢逆縁もある。もう若くない引きこもりの子どもを抱えている親もいれば、発達障害の子ども親もいる。

子も孫もないわたしは、誰にも頼れない...という、私も同じですよ、というひとたちにどれだけ出会ったことか。それどころか、死んだ後にまで憂いを残してこの世を去らなければならない。

子どもがどうあろうと、親子は人生のなかの一時(いつき)の縁。始まったように、いつかは終わる。親の役割とは「これまで育ててくれてありがとう、明日からあなたはもう要りません、あなたがいなくてもボク/ワタシは生きていきます」と子どもを家族から卒業させること。親も親業を卒業したらいい。そのためには、子どもを託せる他人を増やすことだ。その方が子どもの生存可能性も高まる。後は誰にでも「おひとりさまの最期」が待っている。

CONTENTS

- 2 特集 障がい者スポーツを考える～パラリンピックの意義～
もう一つのオリンピック「パラリンピック」とは？
Part.2 「ボッチャ」とオリンピック・パラリンピック
- 4 お知らせ
「行ってみたい」を現実に！
医療的ケア児等医療情報共有システム「MEIS(メイス)」
- 5 レポート
平成30年度 近畿ブロック指導者育成セミナーに参加して
新春の集いに参加して
- 6 インフォメーション
2019年度 滋賀県障害児者と父母の会連合会 行事予定
Dr.植松のQ&A「はしかについて」
- 7 トピックス
グループホーム まもなく完成します！
- 8 障害者権利条約ってなに？

エッセイストプロフィール

社会学者・東京大学名誉教授・
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長

上野千鶴子さん

1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了、平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2012年度から2016年度まで、立命館大学特別招聘教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。近年、高齢者の介護とケアの分野に研究領域を拡大している。

WAN URL <http://wan.or.jp/>



※写真:菅野勝男撮影

特集

障がい者スポーツを考える～パラリンピックの意義～ もう一つのオリンピック「パラリンピック」とは？

「日本のマラソンの父」といわれた金栗四三が参加した1912年(明治45年)のストックホルムオリンピックから1960年ローマ開催の「第1回パラリンピック」までは48年。車椅子のアーチェリー競技会から始まった障がい者競技も2020年の東京パラリンピックでは22競技が実施されることになっています。

その中でも比較的重い障がいのある人のために考案されたパラリンピック特有の球技「ボッチャ」について、その歴史や競技内容を取り上げながら、オリンピックとパラリンピックに分ける意味について探っていききたいと思います。



Part.2 「ボッチャ」とオリンピック・パラリンピック

その1 「地上のカーリング」、頭脳戦の「ボッチャ」とはどんな競技？

【ボッチャとは？】

「ボッチャ」とは、イタリア語で「ボール」を意味する。最初にジャックボールと呼ばれる白いボールを投げ、続いて赤と青の各6個のボールを投げたり、転がしたりして、目標となるジャックボールにいくかに多くのボールを近づけるかを競う競技。

【歴史は？】

古代ギリシャの球投げを起源とし、6世紀のイタリアで競技としての原型が考案され、20世紀に入って重い障がいのある人も参加できる形に整備され、普及した。重度脳性麻痺者、もしくは同程度の四肢の重度機能障がい者を対象とし、ニューヨーク1984大会から競技となった。

【日本での歴史は？】

日本は北京2008大会でパラリンピックに初出場して以来、3度目となるリオデジャネイロ2016大会で、団体BC1とBC2で初めて銀メダルをつかんだ。ボッチャ日本代表チームは「火ノ玉JAPAN」として期待が高まっている。

【クラス分けと競技種目は？】

男女の区別はなく、障がいの内容や程度などにより4クラス(BC1~4)に分けられ、1対1の個人戦、2対2のペア戦、3対3の団体戦の3種類がある。さまざまな障がいの選手に対応するため、クラスによってルールがアレンジされている。例えば、ボールを手で投げるのが難しい選手は足で蹴ったり、競技アシスタントのサポートを受けたり、滑り台に似た勾配具(ランプ)を使って転がしたりすることなどが認められている。



▲BC3クラスの江川さんはアシスタントによるサポートにてランプを使用し、頭脳戦で戦う！



▲ジャックボール

<参考資料>

一般社団法人
日本ボッチャ協会
ホームページ



東京オリンピック
パラリンピック
ホームページ



ボッチャの
簡単ルール解説



滋賀県
ボッチャ協会



その2 「ボッチャ」は障がい者だけのスポーツ？

「ボッチャ」は障がい者だけのスポーツなのか？
滋賀県ボッチャ協会事務局長の田中康隆さん
にお聞きしました。

Q1 ボッチャという競技は障がい者のための競技なんでしょうか？

実はボッチャは体育協会に入っていないんですね。つまり、ボッチャ以外のスポーツは健常者がしていたスポーツに障がい者が入ってきているという認識なんです。ところが、唯一、ボッチャだけは障がい者のスポーツと位置づけられています。私たちが障がい者のスポーツと思っていたところがありますが、実はボッチャは健常者もできるスポーツです。ですから、私は障がい者のためのボッチャ協会ではない健常者も含めたボッチャ協会をつくりたいと思っています。



田中さんがボッチャに興味を持ったきっかけは？

私は養護学校の教員をしていました。10年前にボッチャをしたいと思っていた電動車椅子の高校生に出会ったんです。それまで何もやる気がなく「死にたい」と言っていた彼が卒業のときには表情も変わり、「死にたいとは思わない」と言ってくれたんですね。その時、スポーツでこれだけ人が変わるんだと実感し、これは広めないといけないスポーツだと思ったんです。例えば野球やサッカーで輝けない子どもたちでも、ボッチャなら輝けるかも知れない。それでボッチャを盛り上げていこうと協会を立ち上げました。

▲田中さんは以前野洲養護学校で養護教員として勤務。現在自身のチームで指導。

Q2 健常者がボッチャにふれられるような仕掛けはありますか？

東京オリンピック・パラリンピックの盛り上がりで、東京では企業が健常者のボッチャ大会をしています。私たちが6月に家族大会をする予定です。これは健常者の大会にするつもりです。以前、地域で企画しましたが、障がい者が8割、健常者が2割の参加で、その2割がリピーターにならないんですね。きっと勝ち辛いんだと思うんです。ですから、健常者だけで戦うことで競技の面白さを知っていただくことが大事なんだと思いました。健常者でも楽しくできることを証明することで、障がい者と徐々にミックスしていきたいんです。大人はもちろん、子どもたちに知ってもらいたいと、学校や地域で普及活動をしています。まずは多くの健常者にボッチャのことを知ってもらうことが大事なんです。

Q3 つまり、ボッチャは障がい者と健常者が一緒にできるということなんですね。

そうなんです！ボッチャはカーリングと同様、頭脳戦でもあるので、健常者が負けるケースも往々にしてあります。ですから、最終的には障がい者と健常者が交わって競技できる、さらにはお年寄りや子どもも一緒にできる本当にユニバーサルなスポーツなんです。ただ、パラリンピックでは障がいの重たい人はボッチャで、といったように身体能力で競技種目を決められてしまっているんです。

◀小学校で普及に務める田中さんは兵庫県で養護教員をしていた時、バスケットをしたがっていた片腕の生徒にボッチャをすすめ、一緒に競技をしたところ、試合で負けて、この競技は凄い！と思ったそう！

一般社団法人日本ボッチャ協会
2019年育成指定選手
江川拓馬さん 28歳

2017年11月 日本ボッチャ選手権 準優勝
2018年12月 ドバイワールドオープンベア 銀メダル

普段は草津の製作会社アイコラレーションでホームページの制作の仕事をしながら週3回ボッチャの練習。仕事との両立は大変だが、大事な代表選出大会に向けて練習を増やしていきたいとのこと。



何かスポーツを始めようと思った4年前に養護学校時代の後輩から紹介されたのがボッチャだったという江川さん。はじめはレクリエーションのつもりが、だんだん競技にのめり込み、2017年には日本ボッチャ選手権で準優勝を果たし一般社団法人日本ボッチャ協会2019年育成指定選手に選ばれました。

「見た目は地味だけど奥深かったんですね。2015年の予選に通って本選に行き、競技の面白さを知ったこと、それと2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まったことで、どうせやるなら頂点を極め、パラリンピックを目指そうと決意しました」

去年は日本選手権でベスト8に入り、今年の12月に開催される日本選手権で優勝すればパラリンピックの選手に選ばれる可能性が高まる江川さん。滋賀で初めてのボッチャ代表選手として、期待と注目が高まっています。

「オリンピック・パラリンピック」の在り方について一言！

実際競技場所を考えると難しいのかも知れませんが、「ボッチャ」という競技でいうと、誰でもできるスポーツなので障がい者だけでなくクラス分けて健常者のパーションもあっていいと思います。そういう意味では「パラリンピック」と分けることなく「オリンピック」でいいのかな、と思いますね。

応援しよう！

頭脳戦で戦う江川拓馬さんが率いる「チームライトニング滋賀」は豪華チーム

Q4 健常者と障がい者を分けた「オリンピック・パラリンピック」についてどうお考えですか？

ボッチャは障がい者と健常者の垣根を越えられる競技だと思っています。障がい者と健常者が真剣勝負で戦える競技がボッチャなんです。全ての障がい者競技が「オリンピック」と「パラリンピック」という棲み分けのない中で競技できることを願っていますし、ボッチャはその起爆剤になれると思っています。

「ボッチャ」はオリンピック・パラリンピックを一つにするその起爆剤になる!!

田中さんの師匠でボッチャの元祖ともいえる原田浩明さん(宝塚在住)と。原田さんは70歳を超えて今もコーチングをしている。



お知らせ

「行ってみたい」を現実に!

医療的ケア児等医療情報共有システム『MEIS(メイス)』 2020年よりサービス開始!

医療的ケア児等医療情報共有システム Medical Emergency Information Share

「行ってみたい」を現実に!



障がいのある子どもたちは、外出先で状態が悪くなった場合、健常な子どもより、一層リスクが大きくなる場合があります。そんなことから、医療的ケアが必要な子どもが旅行などで出かける場合、家族は急な発作に備えて外出先周辺の病院の情報を集めたり、本人の医療データを持ち歩いたりしなければなりません。

そんな現状を改め、全国どこでも必要な医療を受けられるよう、かかりつけの病院以外でも医療等に関する情報を共有するシステム「医療的ケア児等医療情報共有システム『MEIS(メイス)』」が2020年からサービスを開始することになりました。

「医療的ケア児等医療情報共有システム『MEIS(メイス)』」は本人やご家族、かかりつけ医が、医療等に関する情報をパソコンやスマホで入力し、データベース化するものです。

もしも外出先で救急搬送された場合、救急隊員や搬送先の医療機関がスマホやパソコンを利用する等の方法で、情報を閲覧できるようになります。

医療的ケア児等医療情報共有システム『MEIS(メイス)』

平時	救急時	急性期・短期入所等
医療的ケア児等とその家族 本人情報・診察記録の入力・参照 主治医・かかりつけ医 診察記録の承認・参照	救急隊員 本人情報・診察記録の参照 救急医療病院 本人情報・診察記録の参照	転院先医療機関 本人情報・診察記録の入力・参照

2020年サービス開始予定!

※運用開始の詳細については、厚生労働省ホームページに掲載予定です

ぜひ、
ご登録ください!!

レポート

平成30年度 近畿ブロック指導者育成セミナーに参加して

滋賀県栗東支部 堀内恵美子

今回のセミナーは地元滋賀で開催されるということで初めて参加させていただきました。家から近く日帰り参加も可能でしたが親も娘もショートステイをお願いできたので、思い切って泊まりで研修を受けさせていただきました。

1日目は『地域での住まいの場の工夫』、2日目は『意思決定支援の今』というテーマでとても興味深くお話を伺いました。住環境を整備することで生活の改善ができることを症例を交えて聞かせていただきこれからの生活設計を考える機会となりました。テクノロジーを活用してのコミュニケーション支援ではその進化に目を見はるものばかり...両日とも生活の可能性の広がりを見せていただき明るい気持ちになりました。

また、美味しいお食事をいただきながらの他地域の方との交流もとても刺激的で楽しかったです。次年度の開催を今から楽しみにしています。ご準備くださいました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



▲グループごとに意見を出し合い、発表



▲スマートフォン・iPadのアクセシビリティ機能について確認しました



▲視線入カソフトを体験する参加者



▲懇親会では所属の府県を超えて交流ができました

新春の集いに参加して

湖北タウンホーム 山中

「障がいがあるから」「障がいがあるのに!」と、制度の不足や、世間の理解のなさに嘆いたり不満に思っていることを恥ずかしく思われるほどの先輩がたのお話でした。制度がない中での子育て、

一緒にの外出での困ったお話...「もう大変だったの〜」と笑いながらお話されているけれども、ご苦労も多かったと思います。

世間の目よりも、子どもが出来ることを増やしてあげたい!チャレンジさせてあげたい!体験させてあげたい!この子には間に合わないかも知れないけれど、次の誰かの為に...先輩がたが作った道を歩いている私たちは恵まれているな〜と感じたのと同時に、障がいを理由にしていたのは私たちだったと気づく機会と、私たちがこれから出来る事はなんだろう?と考えることが出来た機会となりました。

美味しい食事と先輩がたとの交流は、豊かな時間でした。ありがとうございました。



インフォメーション

トピックス

2019年度 滋賀県障害児者と父母の会連合会 行事予定

2019年 6月9日(日)

2019年度総会

会場:ピバシティホール(彦根) 研修室

第63回滋賀県肢体不自由児者福祉大会

会場:ピバシティホール(彦根) ホール

2019年 7月13日(土)

第54回近畿肢体不自由児者福祉大会

会場:奈良県文化会館(予定)

2019年 9月8日(日)

さわやかレクリエーション事業「第13回文化祭」

会場:湖南ホームタウン

2019年 9月14日(土)~15日(日)

第52回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会

会場:磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」

2019年 10月26日(土)~27日(日)

療育訓練キャンプ

会場:こんぜの里栗東 森の未来館

2019年 12月7日(土)~8日(日)

近畿ブロック地域指導者育成セミナー

会場:JR嵯峨嵐山駅前の宿泊施設(予定)

2020年 1月予定

2019年度新春の集い

会場:未定

2020年 3月中旬(予定)

第13回立命館守山中学校 障がい児理解教育合同講演会

会場:立命館守山中学校

Dr.植松の Q&A



植松潤治先生プロフィール

湖北グリーンクリニック 院長
かいつぶり診療所 院長
日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医
日本リハビリテーション
医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業、平成8年同
大学院卒業、医学博士。日本小児科学会、
日本小児神経学会、日本リハビリテーショ
ン医学会、日本児童青年精神医学会、日本
重症心身障害学会所属。介護支援専門員。

Q

今年に入って三重県や大阪ではしか(麻しん)の集団感染が報告されました。私たちはどういった事に注意すればいいのでしょうか。

A

麻しんは高熱、全身の発疹、カタル症状(鼻水や咳、喀痰の発生等)を特徴とし、空気感染を主たる感染経路とする感染力の非常に強いウイルス感染症です。肺炎、脳炎等を合併して死亡することもあるので、事前に予防接種を受け免疫を付けることが重要です。お子さんの第1期、第2期の定期予防接種を徹底するとともに、小学生以上、成人の方も下記の基準を参考にさせていただき、接種対象となる方のワクチン接種をお願いします。

1. 1歳以上で2回の予防接種記録の有無(記憶ではだめ)

2. 1歳以上で1回の予防接種記録の有無

⇒ 1回だけなら、2回目の接種推奨

⇒ 一度も接種記録が無い場合は抗体を検査

3. 抗体が陰性 ⇒ 2回接種推奨

4. 抗体が基準を満たさない場合 ⇒ 1回接種推奨

5. 抗体が基準を超える場合 ⇒ 接種不要

グループホーム、まもなく完成します!

開設準備室長 遠藤正一

父母の会の皆様方にとっても、また地域で暮らしている重度・重心タイプの障がいがある方とご家族の方々にとっても、念願であったグループホームが間もなく完成致します。(2019年5月開所予定)

このグループホームは定員7名と併設の短期入所1名で、合計8名の方が利用されます。障がいの程度も重い方がほとんどで、区分6でさらに医療的ケアを必要とされる方々です。看護師の配置もあり、居宅介護のヘルパーも入り、手厚い支援体制で、「安心と広がり」⇒(利用者さんとご家族にとって安心できる家、暮らしが広がり、地域との関わりも広がる)をコンセプトにしたグループホームです。また、名称は「ぼのハウス」(ぼのはハワイの言葉で心地よいの意味。心地よい家の想いが込められた名称です)。

建物には多くの木材が使われており、温かな雰囲気があり、ぼのハウスの意味合いが込められています。地域の方々からも、「何か困っていることがあったら言って下さい」「ボランティアとして伺います」「気軽に遊びに行きます」などの温かな歓迎のお言葉をいただいております。新たなスタッフの方々にも恵まれ、頼もしい船出ができそうでワクワクしております。ぜひ、遊びに来て下さい。



縁の下の力もちサン



ご支援ありがとうございました!
平成30年10月~平成31年3月分(順不同、敬称略)

寄付金

【湖北タウンホーム】

伊藤幸子、八木清司、長浜市・赤十字奉仕団、岩口由紀、山中賀子、認定NPO法人夢・同人 理事長 國松善次、中島秀和、高橋敏彦

【湖南ホームタウン】

守山市身体障害者連合会、特定非営利活動法人音楽療法の会・さざなみ、辻ひとみ、武宏平、中野佐代子、N・Y、古川均

【父母の会】

向井正裕、川添喜美恵、村上キヨミ、学校法人ヴォーリス学園

物品ご寄付

書き損じハガキを含む

【湖北タウンホーム】

認定NPO法人夢・同人 理事長 國松善次

【湖南ホームタウン】

河内みさこ、古川均、督永勝次、ダイヤモンドグループ代表 青谷晴美、林ふじ江

ボランティア

【湖北タウンホーム】

長浜老人クラブ連合会、おやじの会、虎姫福祉の会、虎姫地区民生委員、赤十字奉仕団、天舞賤ヶ岳、ハンドマッサージ和、浜竜太鼓、虎姫中学校吹奏楽部、中野町花水木、長浜養護学校教員、明治安田生命、夢・同人、ブルーサンダーボーイズ、滋賀県立文化産業会館(田上・中井)、伊藤ゆきゑ、古脇慶子、赤井淑子、横山博志、西川桂子、古山富美子、デルロサリオ・恵美、住永真紀子、竹越悦子、小柳貞子、横田美穂子、野淵真喜子、坂野滋、中村庄衛、北村マサエ、米田静江、奥村快友、吉田有姫、佐藤里江、増田有紀、奥奈々子、小倉みさお、高山義幸、村地司、小崎三枝子、藤井千鶴子、村上智恵子、西沢喜代子、小崎光輝、古池律子、北川美由紀、国友強

書き損じハガキが
ございましたら、
父母の会事務局まで
よろしく願います。

障害者権利条約ってなに?

シリーズ第34回目

速く、便利で、お手頃であれ

イラスト:るーしー小林

娯楽に使う自動車を手に入れるために様々な援助や制度があります。高価であっても移動の権利を保障する高性能な車いすもその対象になればいいのにはと思います。移動保障の後押しにはなるのではないのでしょうか?



障害者権利条約から部分的に抜粋してご紹介します。

第20条 b項

個人の移動を容易にすること

締約国は、障害者自身ができる限り自立して移動することを容易にすることを確保するための効果的な措置をとる。この措置には、次のことによるものを含む。

(b) 障害者が質の高い移動補助具、補装具、支援機器、人又は動物による支援及び仲介する者を利用する機会を得やすくすること。(これらを負担しやすい費用で利用可能なものとするを含む。)

編集後記

私はハーバルプラクティショナーという資格(JAMHA認定)を持っています。資格取得をきっかけに自宅の庭でもハーブを育てるようになりました。先日、ホーソンの木の剪定を行いました。ホーソンはバラ科の低木で、北ヨーロッパ地域の原産の植物です。日本では西洋サンザシとも呼ばれており、乾燥果実が主にハーブティーとして流通しています。資格の勉強をしていた頃、葉にも薬効があると言われていたので、一体どんな植物なんだろうと思ったので、取り寄せて育ててみることに。

植えたころは人差し指の太さもない程の小枝だったのが、旺盛

に成長し(すぎて)、缶ビールの太さを超えるほど幹が成長しました。昨年バラのために導入したバイオ肥料の恩恵を受け、更に大きくなってしまい、重い腰を上げた次第です。

ホーソンは花後(春)に剪定するのがセオリーですが、樹木の様子を見ると被害も進んでおり、花後の剪定よりは葉がない時期にバラと一緒にしてしまった方が良いのではと判断しました。剪定ばさみでは歯が立たず、のこぎりを使いました。翌日以降はしばらく腰痛と筋肉痛に苦しみました…。

今年のお花は難しいかも知れませんが、未永く元気で育てて欲しいです。

(小川 美美湖)

【編集人】

社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内
[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702
[URL]http://www.open-mind.jp
[E-MAIL]kaitsuburi@open-mind.jp

滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内
[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702
[URL]http://www.open-mind.jp/about_fubo/
[E-MAIL]info2005@open-mind.jp



いつも元気でね健診

かいつぶり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。

お申込・お問い合わせはかいつぶり診療所まで

TEL:077-514-1715

